

『登戸土地区画整理事業』

Q 青山議員質問要旨

- 1.進捗状況について
- 2.平成21年から平成27年までのスケジュールについて、中間目標値を決めるべきではないか。
- 3.平成27年までに完成するのか。総事業費770億円を超えることは想定されるのか。
- 4.平成27年までに事業を完成させるとするならば、毎年の区画整理事業費の予算額が少なすぎるのではないか。
- 5.平成27年までの完成が困難な場合の措置はどうなっているのか。

A まちづくり局長答弁要旨

登戸土地区画整理事業の進捗状況は、平成21年3月末見込みで、仮換地指定面積146,290㎡、進捗率55.6%、使用開始面積は、104,275㎡、進捗率39.6%、移転補償件数は、567棟、進捗率41.8%、道路整備延長は、4,128m、進捗率35%となっている。次に、平成27年度までのスケジュールについては、現在の計画では、平成26年度末までに工事を完了し、換地処分を実施。平成27年度に精算行為実施となっている。また、中間目標値については、次期実行計画時に検討していく。次に、事業完成年度については、平成27年度までの完了を目指して、事業に取り組んでいく。尚、総事業費については、今後、社会情勢の変化などを見ながら、必要に応じて検討していく。各年度の区画整理事業費予算額については、進捗状況に合わせて必要な予算の確保に努めていく。最後に、平成27年度に事業の完成が困難な場合は、事業期間の延伸を図る事業計画の変更が必要となる、と考えている。



※議会にて質問

Q 青山議員再質問要旨

市長の登戸土地区画整理事業に対する決意を伺う。

A 市長答弁要旨

本事業は、駅前を中心とした既成市街地における事業であるため、施行上の課題も少なからずあるが、権利者の皆様のご協力を頂き、進めていく。今年度は、仮換地指定面積も55%を超え、向ヶ丘遊園駅前の優良建築物等整備事業も竣工し、多摩区の地域生活拠点にふさわしい街づくりの姿が少しずつ見えてきた。今後とも、権利者の皆様のご協力を頂きながら、駅前広場をはじめとする都市基盤の整備など、土地区画整理事業の着実な推進を図っていく。



■川崎都市計画事業登戸土地区画整理事業進捗

項目	累計面積・延長	進捗率(%)
仮換地指定面積 (263,148)㎡	146,290㎡	55.6
使用開始面積 (263,148)㎡	104,275㎡	39.6
建築物等移転棟数 (1,358)棟	567棟	41.8
道路築造延長 (11,805)㎡	4,128m	35.0

『介護保険制度』

Q 質問要旨

現在、介護保険給付金準備基金が積み立てられているが、その趣旨を伺う。また、第二期計画において、約19億7千5百万円を取り崩しているが、その理由と目的について伺う。更に、この基金は、介護保険料剰余金の積み立ての性格を持つと考えるが、見解を伺う。

A 答弁要旨

介護保険給付金準備基金は、当該年度の徴収保険料を、後年度の保険料所用額に充てることを目的として積み立てている。次に、基金取り崩しについては、第二期計画当時は、介護保険制度の創設から期間が短く、制度を安定的な物とするため、保険料の大幅な上昇を抑えるために実施したものである。本基金の性格は、余剰が生じた場合は、次期計画期間に歳入として繰り入れ、介護保険財政の安定的な運営を図るものである。

多摩区の現状と課題解決に向けた取組

- 生田緑地や多摩川に代表される豊かな緑は、多摩区の大きな特長となっています。中でも生田緑地では、平成23年度に藤子・F・不二雄ミュージアムの開館や青少年科学館の改築オープンを予定しており、その魅力がますます向上していきます。
- この生田緑地を貴重な観光資源としても活用するため、登戸・向ヶ丘遊園駅及び宿河原駅からの回遊性向上や観光振興・タウンセールスに取り組んでおり、地域全体の活性化へつなげていくことを目指します。

◎は新規事業、○は拡充事業、☆は区の課題解決に向けた取組の予算 (単位:千円)

(川崎市予算案より)

事業名	事業概要
I 安全で快適に暮らすまちづくり	
安全・安心まちづくり推進事業 1,878	安全・安心な地域生活環境整備に向け、市民・地域や警察等との協働による事業の推進を行う。パトロール活動団体の支援、安全・安心まちづくりに関する地域課題の研究及び連絡会議の開催等、関連事業の強化を図っていく。
◎仮称多摩区安全・安心マップ作成事業 1,470	多摩区における防災防犯の様々な情報を区民に提供し、安全で快適に暮らすまちづくり事業の推進に資するため、ガイドマップかわさき上に仮称多摩区安全・安心マップを構築する。
II 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり	
パサージュ・たま事業 260	区役所総合庁舎アトリウムを利用して、障害団体及び生活支援や就労支援を行っている障害者施設や作業所等の活動紹介、普及啓発活動、作品の展示販売、作業実演、相談等を行う。
III 人を育て心を育むまちづくり	
保育の寺子屋事業 2,900	家庭で子育てをする保護者を支援するため、保育の寺子屋「親と子の育児園」を月4回開講し、「子育て・子育て」を支援するプログラムと場を提供し、子育て力を養う機会とする。
子育て支援パスポート事業 670	商店街との協働により、割引きなどの特典が受けられる「子育て支援パスポート」を発行し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、地元商店街への関心と購買力を高め、商店街の振興を図る。
○こどもの外遊び事業 800	家庭や生活様式の変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を実施する。
◎仮称多摩区子ども支援基本方針策定事業 3,200	多摩区における子ども及び子育て家庭の実態調査とそのデータ分析を行い、今後の地域全体での子育て支援事業や体制に反映させていくため、仮称多摩区子ども支援基本方針を策定する。
多摩区・3大学連携事業 1,823	区と区内3大学で構成する「多摩区・3大学連携協議会」の運営により、大学と地域の連携を図り、地域の課題解決に向けた取組を実施する。
IV 環境を守り自然と調和したまちづくり	
まちかどアメニティ・花事業 3,500	道水路の余剰地を活用し、地域に根ざした植栽帯の整備を市民との協働により実施する。整備後の植栽の管理は自治会の団体主導で行う。
VI 個性と魅力が輝くまちづくり	
観光振興・タウンセールス推進事業 4,915	多摩区を豊かな自然や文化財と身近で触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携し、集客力の向上、交流人口の増加につなげる取組を進める。
観光振興・道路景観整備事業☆ 35,000	生田緑地や多摩川への回遊性の向上を図るための道路景観整備などを行う。(市道小杉菅線ほか1路線600m)
◎郷土芸能推進事業 100	多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めた第10回多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加し、観光・商業の振興を図る。
◎多摩川音頭誕生80周年事業 600	多摩川音頭(北原白秋 作詞)の誕生80周年を記念し、第10回多摩川流域郷土芸能フェスティバルや多摩区文化協会設立40周年記念行事等において、記念展示等の事業を実施し、川崎の“ふるさと音頭”の普及に役立てる。
VII 参加と協働による市民自治のまちづくり	
地域コミュニティの活性化促進事業 1,609	町内会の未加入世帯の増加という課題の解決に役立てるため、地域メディアへの宣伝広告記事の掲載や町内会加入宣伝ポスターの作成により、町内会の存在意義をアピールして加入促進につなげる。
磨けば光る多摩事業 2,308	多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、区民が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置づけた上で、提案者に委託する。

市政についてご意見、ご要望等お気軽にご連絡ください



青山 圭一 連絡所:TEL.044-935-3597 FAX.044-935-3529
民主党川崎市議会議員団控室:川崎市川崎区宮本町1 TEL.044-200-2111

PROFILE

1966年生まれ 川崎市立千代ヶ丘小学校卒業 柿生中学校卒業
神奈川県立生田高等学校卒業
中央大学法学部卒業 会計事務所勤務
平成 6年4月 元衆議院議員松沢成文公設第二秘書(現神奈川県知事)
平成11年4月 川崎市議会議員初当選 (第1位 9,293票)
平成15年4月 川崎市議会議員2期目当選(第1位 10,010票)
平成19年4月 川崎市議会議員3期目当選(第1位 10,073票)

現在 川崎市議会議会運営委員会 委員長
川崎市議会健康福祉委員会 委員
民主党神奈川県第9区総支部 副会長
生田ライオンズクラブ会員
趣味 野球・水泳・少林寺拳法・将棋

民主党川崎市議会議員青山圭一ホームページ
<http://www.aoyama-k1.jp/>